

甲田ゆり子の活動報告

5月	中野区主催「放射線のひみつ」講演会に参加	
	「HTLV-1ウィルスと白血病シンポジウム」に参加	
	消防操法大会に参加	
	第四消防方面合同水防訓練に参加	
6月	区政報告会実施(西武線地下化に伴うまちづくりについての説明会を兼ねて)	
	老人大学開講式に参加	
	日野市小学校にて「特別支援教育」の視察	
	葛飾区小学校にて「防災ヘルメット」と「ICT教育」の視察	
	中部すこやか福祉センターを視察	
	東京商工会議所中野支部・「中野21の会」と区議会議員との意見交換会	
7月	渋谷区「ふれあい植物センター」を視察(蛍の飼育方法等)	
	地方議員セミナー「地方議員の今日の役割と課題セミナー」	
	中野区社会福祉協議会を視察	
	地域猫等ボランティア団体の勉強会	
	地方議員勉強会「よくわかる区財政分析」	
	警察大学校跡地建設現場の視察(公明党中野区議団全員)	
	映画「犬と猫と人間と」上映会(野方区民ホール)	
	「臨床美術」を体験(特別養護老人ホーム&障害者支援施設「マイルドハート高円寺」)	
	社会福祉法人「まどか荒浜」(仙台市)を訪問	
	東京朝鮮第九初級学校 納涼大夜会(杉並区阿佐ヶ谷)	
8月	「中野区 平和のつどい2011」(中野ゼロ小ホール)	
	「東京都原爆犠牲者慰霊祭・追悼のつどい」(主婦会館 プラザエフ: 四谷)	
	区議会新議員研修視察(区政会館等東京都の施設)	
	東京都河川促進大会(八王子オリンパスホール)	
	「子どもの村福岡」視察(福岡市)	
	「いのちをつなぐネットワーク事業」視察(北九州市)	
	地方議員セミナー「地方自治を基礎から学べる市町村議会議員研修会」(神戸)	
	阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」視察(神戸)	
	「としま再生プロジェクト」視察(豊島区)	
	「こども事故防止センター」視察(豊島区)	
9月	中野区総合防災訓練(白桜小)	
	「事業所向け認知症サポーター養成講座」等視察(板橋区)	
	公明党区議団として各種団体との予算要望懇談会(約20団体)	
	NPO法人東京断断会中野支部の例会(勤労福祉会館)	
	中野水再生センターを視察	
10月	認知症サポーター養成講座受講	
	社会福祉サービス事業団評議員会(勤労福祉会館)(評議員)	
	宮脇昭氏の「いのちの森植樹・育樹講演会」(豊島清掃事務所)	
	中野区主催自殺防止対策講演会「不安な時代をどう生きるか」(野方wiz)	
	「アール・ブリュットde街おこし」(野方wiz)	
10月	中野区障害者福祉会館まつり(来賓)	
	中野区小中学校特別支援学級連合運動会(来賓)	

地域行事等に参加

5月	上高田二丁目町会「もちつき大会」
	野方消防団「消防操法大会」
	中野区/第四方面合同「水防訓練」
	片山町会有志「緑のカーテン講習会」
6月	中野第五中学校「運動会」
	片山町会「防災訓練」
7月	上高田小学校・新井小学校「学校公開授業」
	新井薬師盆踊り
8月	片山町会盆踊り
9月	上高田祭礼にて神輿担ぎ等
	上高田小学校「運動会」
10月	地元・上高田2丁目町会日帰りバス旅行
	「中野にぎわいフェスタ2011」

実績

危険防止の交通注意看板「自転車もとまれ!!」の設置



川沿いの道路・側溝をグレーチングに交換



新井4丁目

8月の豪雨の際、道路冠水した地域の住民の要望により、9月に側溝を改善しました。

甲田ゆり子区民相談受理件数

この半年間で 63件
(区政に関すること、お気軽にご相談ください)

甲田ゆり子連絡先

- 公明党控室 03-3228-8875 FAX 03-3389-8680
- ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/nakano-koda-yuriko/>
- ブログ <http://ameblo.jp/anskissui/>
- Eメール kouda-yuriko@aiores.ocn.ne.jp
- Twitter @KoudaYuriko
- Facebook 甲田ゆり子 または Yuriko Kouda で検索



こうだ!と決めたらまっしぐら!生まれ育った中野を笑顔輝くまちに

● ごあいさつ ●

本年4月に皆さまのお力で区議会に送っていただき、約半年がたちました。

9月28日から開かれた、第3回定例会の本会議において、初めての一般質問に立ちました。

これまで地域の皆さまより寄せていただいた貴重なご意見をもとに、多くの質問をさせていただきました。

今号では、質問の内容と議員活動についてご報告いたします。

甲田ゆり子

甲田ゆり子の所属委員会

- 常任委員会では、「厚生委員会」(※1)に所属、副委員長を拝任しました。
- 特別委員会では、「地域支えあい推進特別委員会」(※2)に所属しています。

※1厚生委員会は、地域活動の推進、地域ケア・地域支援、保健衛生・社会福祉、保健所・福祉事務所、スポーツ・文化・生涯学習に関する事柄を検討するところです。

※2「地域支えあい推進特別委員会」は、(1)地域における見守りや支えあい活動の推進、(2)エコ、商店街、支えあいポイント制度、(3)地域活動支援制度、について調査をしています。

平成23年 第3回定例会 一般質問より

中野区版「歩きたくなる道」で街の活性化を!

西武新宿線地下化で生じる線路跡を緑豊かなグリーンロードに

人々が憩い、散策を楽しめる道をわかりやすくネーミングして緑のネットワークを作っていくことは街の活性化につながると思う。

提案 地域ごとに「歩きたくなる道中野区10選」を選定していけば中野をアピールすることにもつながるのでは。

答弁 当該道路が区民に親しまれ、まちづくりの推進に資する効果が期待される。さまざまなまちづくりの中で一手法として検討したい。

西武新宿線の地下化に伴い、踏切がなくなり、同時に線路もなくなる。

提案 線路跡の道(新井薬師前駅～沼袋駅～平和の森公園)を「平和につながる花と緑の道」として、「歩きたくなる道」の代表格にしてはどうか。

答弁 鉄道跡地利用には鉄道事業者との協議を要するが、地域要望も踏まえ、有効活用に努めたい。



区民による植樹で、防火樹林となる みどりを増やす取り組みを

「本来の森は延焼を防ぎ、地震・火災に強い。人口が集中した都市部でこそ一人一人の手で森づくりを」と訴える、横浜大学名誉教授の宮脇昭氏と、その指導により豊島区が区民植樹運動を展開していることを紹介

提案 震災の防災意識が高まっている今だからこそ、公園や区の施設などから区民による植樹でみどりを増やす機運を高めてはどうか。

答弁 今後さまざまな公園づくりの中で、適用できる事例を研究してみたい。

地域見守り・支えあいの成功に 向けた支援に努めよ

町会・自治会の加入世帯を 増やす支援を

昨年度、区が行なった町会・自治会に向けてのアンケート調査では、未加入世帯が非常に多いという結果だが、区はこの結果に対してどのように取り組んでいるのか。地域の見守りをお願いするのであれば、区として町会・自治会の加入世帯を増やす取り組みを積極的に行なうべきでは。

提案 町会の情報を載せたパンフレットを転入者に手渡すこと、また、区民活動センターごとにHPを立ち上げて紹介し、区民の支え合いの意識を高めてはどうか。

答弁 転入者用チラシを作成し、区民活動センター単位のホームページについても側面から支援していく。

企業との協働・連携で 評価顕彰する制度を

現在、企業は地域への貢献に高い意識を持っている。

提案 区は区内企業に対して、「企業特色を生かしてどのような地域貢献が可能か」というアンケートを積極的に実施してはどうか。また、こうした協力事業者を評価することも大切。評価顕彰制度や区ホームページでの紹介、認定ワッペンを交付することはどうか。

答弁 「元気でねっと」の協力事業者にも引き続き協力をしていただき、併せてさらに新たな業種・業態への拡大を図っていくこととし、アンケートの実施も検討していく。また、協力事業者の紹介も取り組んでいく。



積極的なアウトリーチで担当職員が 地域に顔の見える化を図れ

区民活動センターに配置されている区職員が地域に出ているが、まだ十分に認知されていない。なんでも気軽に相談できる支えあい担当として、さらに積極的にまちへ出ていくことが必要ではないか。

提案 統一したユニフォームや腕章などをつけて誰にでも存在が分かるように工夫できないか。また、支えあい担当職員は、地域資源マップなどをホームページに掲載したり、定期的なネットワーク会議での情報交換、さらには、区民も交えた「取り組み発表大会」などを行なって、地域相互に刺激し合えばさらに支えあいの意識が高まると思うがどうか。

答弁 区民から気軽に相談できるよう体制を整えていく。地域に存在が認知されるよう、今後工夫していく。ネットワーク推進会議については、単なる情報伝達だけでなく、経験交流や先駆事例の発表の場としても活用し、地域の支えあい活動を推進していく。

お買い物ポイント制度は関係機 関との十分な協議のもとに開始して 継続性を高めよ

お買い物ポイントについては、商店街が元気になる仕組みが大切である。来年の春スタートと計画しているが、現時点での検討内容が曖昧ではないか。すでに商店街単位で行なっているポイント制度との調整はどうするのか。スタート時期も含めて再検討すべきでは。

提案 一番の関係機関である「商店街連合会」との調整を十分に行ない、継続することを主眼に置き、まずは高齢者や主婦の方が楽しみながら貯めていける単純で分かりやすいものに。

答弁 お買い物ポイントの実施によって商店街の活性化が図られるような制度構築すべく、関係団体と協議を進めたい。また、利用者が気軽に楽しみながらポイントを貯めることが可能な制度としたい。

有効な子育て支援で「住みよい 中野・子育ての中野」に

保育ママをめぐる環境を改善し、 保育園待機児の解消を

保育園の待機児は特に3歳未満児の待機児が増えている状況がある。家庭福祉員いわゆる保育ママは、3歳未満待機児に有効な施策であるが、拡大しない理由は、「自宅提供型」となっており、住宅事情から場所の確保が困難であること、また責任・負担が重いことが主な原因である。中野区の保育マ

マは現在10名しかいないが、200名以上の保育ママがいる区もある。

提案 区が(空いている区民住宅や公務員住宅などの)場所を確保し提供して実施するグループ保育を進めるべき。また、区内の保育ママどうしが連携し、助け合える仕組みを併せて作り、負担を軽減することが拡大につながると思うがどうか。

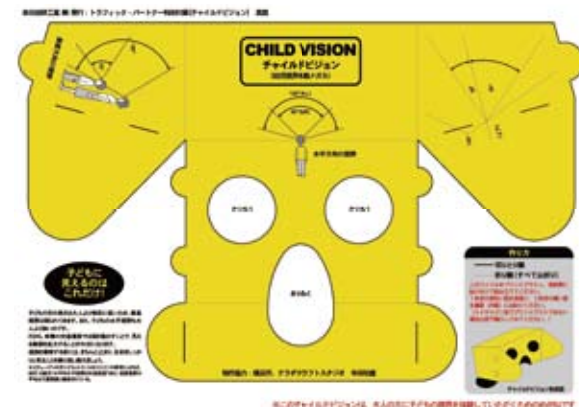
答弁 実施場所として、国は、所管する公務員住宅について家庭福祉員の実施場所として活用策を打ち出しており、有効な手段として検討していく。家庭福祉員どうしの連携については、今後研究していく。

子どもの事故防止について

子どもの事故防止のために、大人が注意すべき点がある。

提案 子どもの視界がどれほど狭いのかを大人が体験できる「幼児視界体験メガネ」がある。これをホームページにアップしてダウンロードできるようにしたり、区の施設に展示するなどしてはどうか。また、「こどもの救急」というマニュアルも区としてホームページに掲載しては。

答弁 区のホームページにリンクして掲載するとともに子ども総合相談窓口に展示し、子どもの事故防止啓発に努めていきたい。



三人乗り自転車の幼児2人以上世帯 へのレンタル制度とバギーの一日 レンタルを

少子化対策の観点から2人以上の幼児のいる親への支援をして「住みよい中野」といえる環境を作ることが大切。

提案 在宅の子育て家庭の支援のために、多少のレンタル料金や条件をつけ、保険をかけるなどして、新しく整備される駐輪場で3人乗り自転車のレンタル制度を設置・導入を検討すべきでは。併せて、自転車から電車に乗り換える親子のためのバギーの一日レンタル、さらに電動自転車の充電器を設置してはどうか。

答弁 駅周辺の駐輪場を拠点とする3人乗り自転車やバギーの貸出しについて、期間を定めた有料レンタル方式で

行なうことは研究に値すると思うが、自己負担と採算性など、事業モデルとして成立するような計画づくりが肝要だと思う。

特別な配慮を必要とする 子どもたちへの施策について

特別支援教育と障害のある児童に対する事業について、平成24年4月の法改正をふまえてどのように考えているのか伺う。

質問 障害のある児童に対する各種事業の中で都が行ってきた事業が区に移管さるとの情報もあるが、どのように変わるのか。

答弁 各種の障害児通所事業は、すべて児童福祉法に基づいて区で実施することとなり、区としては、障害児施策のさらなる充実に向けて取り組んでいきたい。

提案 現在、重度の障害をもつ幼児は療育センターアポロ園での療育指導があるが就学後は療育的なサービスはないため、区として積極的に事業を展開すべきでは。

答弁 就学中の障害のある児童の放課後等の通所事業の実施に向けて検討をすすめているところである。

提案 アポロ園だけでは、サービスの提供に限界があると思われる。会派として南部地域にも新たな施設の整備を要望してきたが現状はどうか。

答弁 南部地域の療育施設については、平成27年度までの完成を目指している。現在基本方針をまとめている。障害のある就学前児童の通所事業及び就学中の放課後の通所事業、保育所等訪問支援事業、緊急一時保護事業を検討している。



▲質問に立つ甲田ゆり子

【第3回定例会】 ●会期 9/28(水)～10/28(金)
第3回定例会では、22年度決算への総括を行い来年度予算への要望や提案を行なうものです。私は9/29の本会議にて初めての一般質問を行いました。なお、【第4回定例会】は、12/1(木)～12/14(水)の予定です。